



セブン・イレブン PRESS RELEASE

2025 年 7 月 17 日

株式会社セブン・イレブン・ジャパン

人や街と共生・共創し「未来へつなごう」
セブン・イレブン記念財団による
第 10 回「霧多布セブンの森」活動を
6 月 28 日（土）に実施しました



株式会社セブン・イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿久津 知洋）の創立 20 周年記念事業として、セブン・イレブン加盟店と本部が一体となって“環境”をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に設立された一般財団法人セブン・イレブン記念財団（東京都千代田区、理事長：太田 敏夫、以下セブン・イレブン記念財団）は、6 月 28 日（土）北海道にて第 10 回北海道霧多布「セブンの森」整備活動を実施いたしました。

セブン・イレブン記念財団は、セブン・イレブン加盟店と本部が一体となって環境をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に 1993 年に設立されました。自然環境保護・保全事業のひとつである「セブンの森・セブンの海の森」づくりでは地域住民や NPO、行政と連携し、地域に親しまれ、愛され、次世代につなげる地域一体型の森づくりを継続し、脱炭素社会の実現と生物多様性の保全に貢献しています。今後も、地域社会や未来世代と一体となって自然環境保護・保全活動などを進めてまいります。



セブン - イレブン PRESS RELEASE

※参考

セブン - イレブン記念財団 <https://www.7midori.org>

〈セブン - イレブン記念財団の概要〉

名称 : 一般財団法人 セブン - イレブン記念財団
理事長 : 太田 敏夫 (セブン - イレブン富士吉田おひめ坂通り店オーナー)
事業目的 : 環境をテーマに社会貢献活動に取り組む
事業内容 : 環境市民活動支援事業／自然環境保護・保全事業／災害復興支援事業／
広報事業
事業資金 : セブン - イレブン店舗に寄せられた募金と株式会社セブン - イレブン・
ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金
設立日 : 1993 年 (平成 5 年) 11 月 20 日 (セブン - イレブンみどりの基金)
事業開始日 : 1994 年 (平成 6 年) 3 月 1 日 (セブン - イレブンみどりの基金)
財団設立日 : 2010 年 (平成 22 年) 3 月 1 日
セブン - イレブン記念財団では、セブン - イレブン店頭でお客様からお預かりした募金
と、株式会社セブン - イレブン・ジャパン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金をもと
に「環境市民活動支援」「自然環境保護・保全」などの活動を実施してまいりました。

〈「セブンの森・セブンの海の森」づくり〉

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に引き継ぐために、産官学民が連携
した地域一体型の森づくり「セブンの森」活動を 2006 年から進めています。地域住民の
皆さんや NPO、行政と連携し長期的な計画を立て、地域に愛される豊かな自然を次世代に
繋げる森づくりを目指しています。

「セブンの森」づくり **31 カ所** (うち終了 12 カ所) **面積 1,787.9ha** (2024 年度末時点)

〈第 10 回 北海道霧多布セブンの森整備活動の概要〉

■目的・テーマ

豊かな生態系を抱く湿原を次世代に引き継ぐための保全活動
森・湿原・川・海をつなげるプロジェクト

■場所

北海道厚岸郡浜中町琵琶瀬 60

■協定

締結 : 認定特定非営利活動法人 霧多布ナショナルトラスト、
セブン - イレブン記念財団の 2 者
期間 : 2018 年 9 月～2028 年 9 月 (更新可)



セブン - イレブン PRESS RELEASE

■活動日

2025 年 6 月 28 日（土） 9：30～12：00

■活動内容

①植樹 ②食害対策のネット装着



霧多布湿原は、1993 年 6 月に釧路市で開催された『ラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）締結国会議』で登録湿地に認定されました。

季節により顔を変え、雪解けとともに徐々に緑が生い茂り、夏から秋にかけては、多くの花々が湿原を彩り『花の湿原』とも呼ばれています。冬には雪により白く染まり、タンチョウ、オオワシなどが遊びに来る場所となっています。



（活動場所から見える霧多布湿原）

今回の「霧多布セブンの森」活動では、植樹と保護カバーの設置を行いました。昨年・一昨年に植えた苗木は、保護カバーの効果もあり、約 8 割が順調に育っており、参加者からは「こんなに育っているとは！」と驚きと喜びの声が上がりました。

今回の活動では、枯れてしまった苗木を取り除き、空いたスペースに新たな苗木を植樹しました。広葉樹の「白樺」「イヌエンジュ」「モミジ」「ヤマザクラ」、針葉樹の「トドマツ」など、合計 150 本を植えました。特に白樺とイヌエンジュはエゾシカが好んで食べる傾向があるため、保護カバーを設置し、しっかりと守る対策を講じました。

活動現場は傾斜のある山道で、足元も不安定でしたが、参加者の皆さんは慣れた手つきで作業を進め、予定よりも早く作業を終えることができました。自然の中での作業は大変な面もありますが、風や木々の香りを感じながらの活動は、心も体もリフレッシュされる貴重な時間となりました。



セブン - イレブン *PRESS RELEASE*



(植樹のレクチャー)



(植樹のエリアへ移動)



(まずは穴を掘ります!!)



(苗を植えます)



(保護カバーの設置)



(植樹完了!!)



セブン - イレブン PRESS RELEASE

森を育てることは、湿原や川、そして海の環境保全にもつながります。特に霧多布湿原は、豊かな生態系を育む貴重な場所であり、私たちの活動がその未来を守る一助となることを願っています。今後も、森の活動と海の活動を通じて、自然とのつながりを大切にしながら、持続可能な環境づくりに取り組んでまいります。

霧多布セブンの森（面積480.8ha）

回	実施日	活動内容	植樹 本数	参加人数	
				加盟店と 本部社員	総参加人数
財団	2018年9月15日	「平成30年北海道胆振東部地震」のため中止し、有志で山道作りと11本の植樹	11本	4名	12名
第1回	2019年5月25日	シラカバ500本の植樹	500本	35名	43名
第2回	2020年7月21日	外来種駆除	一本	0名	7名
第3回	2021年7月10日	下刈り、外来種駆除	一本	5名	12名
第4回	2022年5月14日	植樹した箇所の活着率調査、記念植樹（カエデ）	1本	6名	15名
第5回	2022年10月22日	海岸清掃、木道整備	一本	6名	23名
第6回	2023年6月24日	海岸清掃、生きもの調査	一本	37名	75名
第7回	2023年10月14日	海岸清掃、生きもの調査	一本	16名	52名
第8回	2024年6月29日	植樹（白樺・イヌエンジュ・トドマツ）	150本	34名	44名
第9回	2024年10月12日	海岸清掃	一本	28名	49名
第10回	2025年6月28日	植樹、保護力バー設置	150本	30名	47名
合 計			812本	201名	379名

※総参加人数は、セブン-イレブン加盟店と本部社員以外のグループ社員やNPO、行政、地元の方の参加を含む人数です。